



オリンピック・ムーブメントの普及・啓発活動の一環として、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）が実施している「JOC オリンピック教室」を、JOC パートナー都市である横浜市の市立中学校で開催します。ぜひ、取材をお願いします。

●JOC オリンピック教室とは…

オリンピックが教師役となり、オリンピック自身のさまざまな経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値がオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも生かすことのできるものであることを学習する授業です。

<主催> JOC <後援> スポーツ庁 <協力> 公益財団法人 JKA、横浜市

1 場所・日時

横浜市立東永谷中学校（港南区東永谷 2-14-7）

(1) 平成 31 年 2 月 5 日（火）10:20～14:45

(2) 平成 31 年 2 月 6 日（水）10:20～14:45

※詳細は裏面「4 スケジュール」をご参照ください。

2 対象

横浜市立東永谷中学校 2 年生（4 クラス 計 139 人）

3 講師



<体操>

たなか かずひと

田中 和仁 氏

2012 年 ロンドンオリンピック

団体総合 銀メダル

個人総合 6 位入賞

種目別平行棒 4 位入賞



<ラグビーフットボール>

なかむら ちはる

中村 知春 氏

2016 年 リオデジャネイロオリンピック

10 位

4 スケジュール ※1クラスごとに連続2コマ（運動 50 分+座学 50 分）の授業です。

(1) 2月5日（火）

講師	時限	開始時刻	終了時刻	実施時間	クラス	実施内容（場所）
田中 和仁 氏	3 時限	10:20	11:10	50 分	2 年 1 組	運動（体育館）
	4 時限	11:20	12:10	50 分		座学（クラス教室）
	5 時限	12:55	13:45	50 分	2 年 2 組	運動（体育館）
	6 時限	13:55	14:45	50 分		座学（クラス教室）

(2) 2月6日（水）

講師	時限	開始時刻	終了時刻	実施時間	クラス	実施内容（場所）
中村 知春 氏	3 時限	10:20	11:10	50 分	2 年 3 組	運動（体育館）
	4 時限	11:20	12:10	50 分		座学（クラス教室）
	5 時限	12:55	13:45	50 分	2 年 4 組	運動（体育館）
	6 時限	13:55	14:45	50 分		座学（クラス教室）

5 その他

(1) 「JOC オリンピック教室」の詳細は、別紙 1 をご参照ください。

(2) JOC では、国際競技力向上とオリンピック・ムーブメントの推進を目的に、国際大会等の開催経験を持つ自治体と、平成 14 年から JOC パートナー都市協定を締結しています。横浜市は、平成 20 年 3 月に締結しました。

取材を希望される方は、**別紙 2 により 2 月 4 日(月)正午までに FAX でお知らせください。**

・運動の時間は、授業に支障のない範囲であれば自由に取材していただいて構いません。

但し、オリンピックと生徒の間を移動することはご遠慮ください。

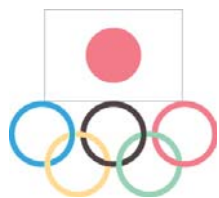
・座学の時間は、生徒やオリンピックが授業に集中できる環境を保つため、動画撮影を希望される場合は、教室後方出入口付近から授業冒頭のみ撮影可能です。

※スタッフは取材エリア以外での撮影を行う場合がありますので、あらかじめご了承ください。

・フラッシュの使用はご遠慮ください。

お問合せ先

市民局オリンピック・パラリンピック推進課 担当課長 田中 礼子 Tel 045-671-4585



オリンピック教室

実施目的 : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピアン自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピアンだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことのできるものであることを学習してもらう

名 称 : JOCオリンピック教室

主 催 : 公益財団法人 日本オリンピック委員会

後 援 : スポーツ庁

協 力 : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会

対 象 : 中学2年生

講 師 : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピアンはJOC側にて選定

期 間 : 平成30年4月～平成31年3月 ※原則、平日開催

実施校数 : 60校程度

実施方法 : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

参 考 : <https://www.joc.or.jp/event/class.html>

1時限目
運動の時間（50分）



2時限目
座学の時間（50分）



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

「オリンピック教室」の実施にあたり

平成21年4月の学習指導要領の改訂以来、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが明確化されています。その中で、中学校3年生の保健体育の「体育理論」の学習内容には、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」とオリンピックの意義が明示されています。そこで、JOCでは、体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施しております。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表として実際にオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その栄誉を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められており、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことのできない感動が生まれることを期待しております。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）及びオリンピック精神の教育的価値等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身に学習してもらうこともねらいとしております。

また、「スポーツ基本法」の前文の一部には、「スポーツは、世界共通の人類の文化であり、次代を担う青少年の体力を向上させるとともに、他者を尊重しこれと協同する精神、公正さと規律を尊ぶ態度や克己心を培い実践的な思考力や判断力を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものである」との記述があります。生徒のみなさんが「オリンピック教室」で学習することで、この基本法に記された精神や態度が日常生活の中で具現化され、生涯にわたってスポーツに親しむことができるようになることを願っています。

平成30年4月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です

※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際にオリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えと同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

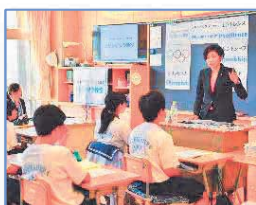
座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用した自己紹介



オリンピック自身の経験に基づく「オリンピックの価値」等を伝える



グループ（個人）ワークで話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です

※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

授業実施風景（運動の時間）

①あいさつ → 学習内容の確認



②準備体操1



③準備体操2



④主運動の説明



⑤主運動1



⑥作戦タイム



⑦主運動2



⑧授業のまとめ → あいさつ



授業実施風景（座学の時間）

①あいさつ → 学習内容の確認



②オリンピックの自己紹介



③オリンピック自身の経験に基づきオリンピックの価値等を伝える → 生徒への発問



④グループワーク



⑤グループワーク発表



⑥授業のまとめ → あいさつ



⑦記念撮影

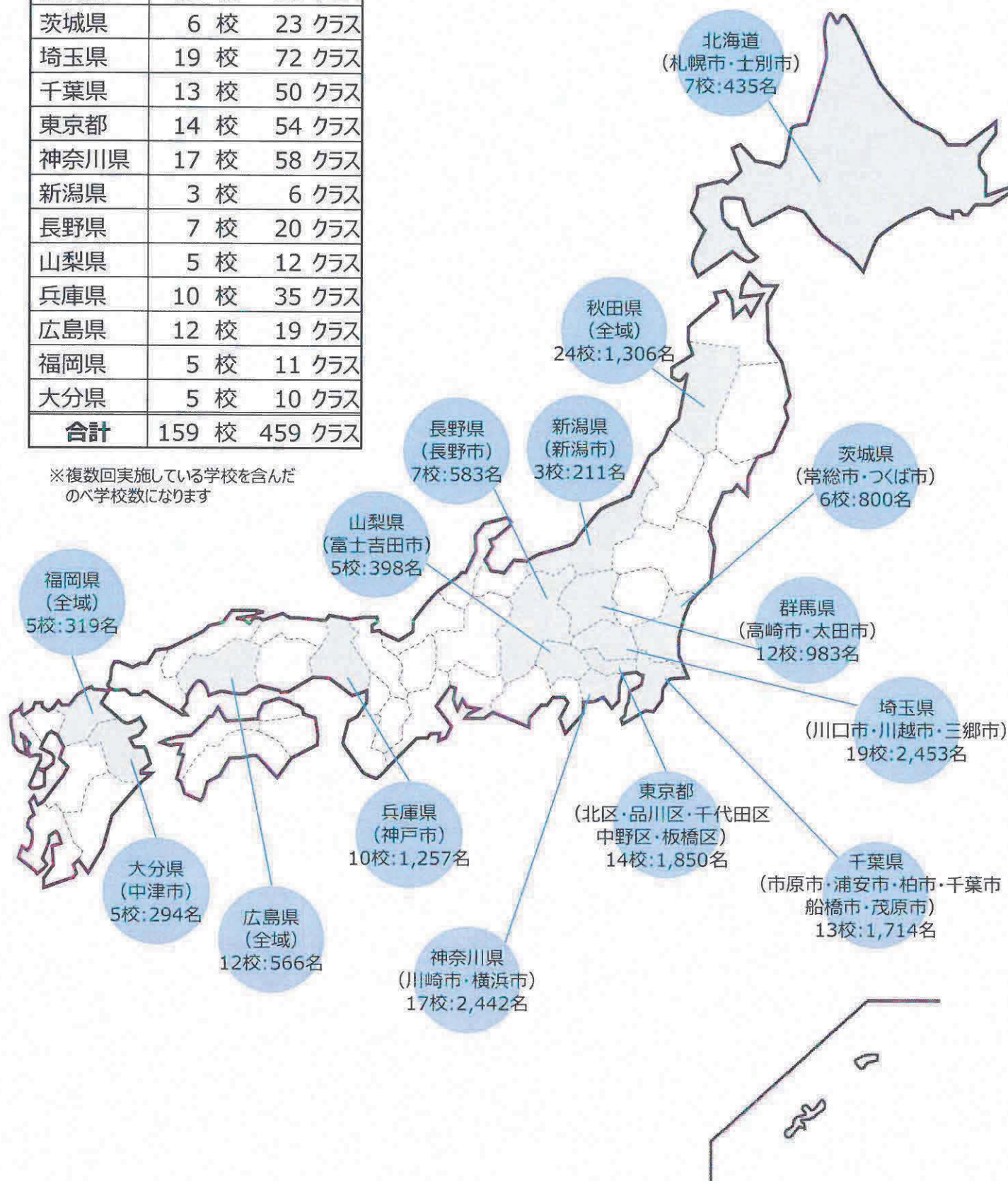


【平成23年度-平成29年度 実施学校数/クラス数】

都道府県	学校数/クラス数	
北海道	7 校	13 クラス
秋田県	24 校	45 クラス
群馬県	12 校	31 クラス
茨城県	6 校	23 クラス
埼玉県	19 校	72 クラス
千葉県	13 校	50 クラス
東京都	14 校	54 クラス
神奈川県	17 校	58 クラス
新潟県	3 校	6 クラス
長野県	7 校	20 クラス
山梨県	5 校	12 クラス
兵庫県	10 校	35 クラス
広島県	12 校	19 クラス
福岡県	5 校	11 クラス
大分県	5 校	10 クラス
合計	159 校	459 クラス

※複数回実施している学校を含んだ
のべ学校数になります

【地域別受講人数】



「JOCオリンピック教室」 取材申込書

- 下欄にご記入のうえ、本票を 横浜市市民局オリンピック・パラリンピック推進課担当者宛てにご返信ください。

【返信先】 FAX : 0 4 5 - 6 6 4 - 1 5 8 8

<締切>

平成 31 年 2 月 4 日 (月) 正午

市民局オリンピック・パラリンピック推進課 三浦・城 宛

所属 (社名)		
来られる方全員の人数		人
取材日		2月5日 / 2月6日
内訳 (※)	カメラクルー	(スチール 台/ ムービー 人台)
	記者	人
	技術	人
連絡先	ご担当者氏名	
	緊急連絡先	

(※) 内訳が未定の場合は空欄で構いません。